



一球入魂

Vol.1 発刊記念号

「じゃあじゃあ」

松商野球部OB会長

高根 基



「初夏の候、会員各位には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。」

日頃は松商野球部OB会の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。母校野球部の平成3年準優勝以来24年ぶり第87回選抜高等学校野球大会出場に多くの会員からご支援を頂き、誠に有難うございました。

本大会ナンバードワン投手のいる県立岐阜商業と対戦抽選日から試合当日まで好投手を攻略すべき練習をすることができることはしてきましたが相手投手の投球が上でした。現在は、個々のレベルを上げチーム全体の力をつける為野球部スローガン「全てに感謝、我武者羅に、全力疾走」で夏に向けて練習しています。

昨年は、2月の総会でOB会長に就任し、その10日後に不祥事が発覚、対外試合禁止の処分を受け、夏の甲子園出場が閉ざされました。7月、3年生の引退試合が行われ、くじけずに3年生部員は全員が卒業することができました。

2・1年生部員は、引退試合後3年生の思いを背負ってスタートしました。対外試合禁止中は部内の紅白試合で試合感覚をつかんできました。9月5日対外試合禁止解除日、9月6日に練習試合を行い、秋の大会中信子選に出場し、一試合ごとに力をつけ中信子選では2位、県大会では優勝し、北信越大会に出場できる強いチームになりました。本大会では決勝で完敗でしたが、決勝までは9回逆転サヨナラ勝利のようにチーム一丸となった戦いに感動いたしました。

屋内練習場、トレーニングセンターが完成し、部室も新しくなり練習をする環境が整いつつあります。

OB会では会員の名簿整理、新装の部室廊下に名札（創部（現部員迄）を掛ける準備をしています。新装の屋内練習場、トレーニングセンター、部室、また100年の歴史栄光室等を見学いただくことをお勧めいたします。

今後OB会は新生松商野球部足立監督の「初心に返る」「時を守り、場を清め、礼を正す」日常生活の基本一人ひとりが「全国制覇」を本気に考える指導方針に更なる支援をしていく所存です。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

最後となりますが、会員各位のご健康とご多幸を祈念し、会報発刊にあたりご報告方々ご挨拶とさせていただきます。

「甲子園に向けて」

松商学園高等学校硬式野球部部長

山口 泰志



昨年度より野球部長に就任いたしました、山口泰志と申します。78回生でございます。日ごろ高根会長、金澤幹事長はじめ諸先輩方におかれましては、硬式野球部の活動にご支援・ご理解をいただき大変感謝申し上げます。お陰様をもちまして第87回選抜高等学校野球大会に出場することができました。また甲子園球場におきましても大きな声援を頂き選手も励みになりました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

私は部長就任以来、多くの方と接する中で、先輩方のみならず学校関係者以外においても硬式野球部に対する期待の大きさに驚かされると共に、その責任の重さを改めて感じた一年でありました。本年度は、41名の新部員を迎え総勢115名と県下一番の大所帯になりました。選手には少しでも多くボールに触ることができる練習環境を作ろうと、皆様のご寄付で建てていただいたすばらしい屋内練習場をフルに活用しつつ、外部の球場も借りるなど形を変えながら練習を行っております。全選手が足立監督をよく信頼し、本場にまともな勝負をすればらしいチームに成長していると感じております。選手、われわれスタッフ一同が目指すものは甲子園に出場するだけではなく「全国優勝」です。

多くの先輩方に支えられながら今後もご期待に応えられるようスタッフ一同精進いたします。なにとぞ変わらぬご声援をお願い申し上げます。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

「夏に向けて」

松商学園高等学校硬式野球部監督

足立 修



「踏みしめる土の饒舌、幾万の人の思い」選抜高校野球大会の大会歌「今ありて」の一節です。今回の第87回選抜高校野球大会はいろんな思いの詰まった大会でありました。硬式野球部OBの皆様方からは本当にたくさんのご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。結果は力負けでありましたが、昨秋の北信越大会決勝、そして今大会と好投手と対戦できたことは今後にとって大変貴重な経験となりました。

さて、現在は夏の甲子園出場に向けて選手は日々練習に励んでいます。一度味わったあの甲子園の感動は、再びあの地に戻りたいという強い情熱に膨らんでいます。甲子園で勝つにはまず県大会を制さなければなりません。そこまでどれだけ不安材料を払拭できるかにかかっています。技術的な課題はもちろんです、そういうチームを作っていくかが重要です。ややもするとレギュラーになることが目的になってしまうがちなところを「全てはチームの勝利のために」一人ひとりが松商野球部を作る一人であることを認識し、チームの和（輪）を大切にすることが大切だと感じています。野球はそもそも一人ではできませんし、相手と戦う前に自分との戦いに勝っていないかなくては勝負になりません。人としての成長が野球への取り組みとなって技術の向上に繋がります、そして平常心で戦える選手を作っていく近道であると強く感じています。野球ができることに感謝の心を持ち、謙虚な姿勢で学校生活、野球に取り組んでまいります。どうぞ今後とも暖かいご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

「夏に向けて」

松商学園高等学校
硬式野球部主将

酒井 俊樹



まず初めに、自分たちのためにも立派な屋内練習場を造っていただきありがとうございます。また、選抜大会の際には、沢山の応援がとうございました。本当に感謝しています。

自分たちは野球ができる事が当たり前ではないということを実感し、ここまで野球を続けてこれたのは、家族はもちろん自分たちを支えてくださる方々のおかげです。その感謝の気持ちを忘れず、支えてくださる方々に感謝を届けるためにどうすればいいのかわかるところを新チーム結成当初3年生全員で話し合いました。辿りついた答えはチームスローガンである「全てに感謝、我武者羅に」です。その言葉の通り、どんなに小さな事にも感謝して、支えてくださる方々に感謝を届けるために我武者羅に全力疾走でやってみようという事です。この気持ちを常に持ち、全てに感謝し、我武者羅に戦い抜きます。また、先輩方から受け継がれた部員心得を自分たちの原点とし、常に原点に戻り、自分たちのやるべき事を見失わぬように日常生活の部分からやってみよう。感謝の気持ちを忘れず精一杯戦います。これからも応援よろしくお願いします。

「夏へ向けて」

松商学園高等学校
硬式野球部マネージャー

浅野 弘宗



三月は、たくさんの方の支えのおかげで、センバツ大会に出場することができました。応援ありがとうございます。また、私が入部した頃と比べると今は、大きな屋内練習場や立派なトレーニングセンターなどがあり、設備向上のおかげで思う存分に野球ができます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

センバツは初戦敗退という悔しい結果でした。この悔しさは、必ず夏に甲子園に出て晴らします。そのために私は、マネージャーという立場からチームを引っ張ります。選手の練習や私生活に目を凝らし、妥協や気の緩みを見逃さず、チームが夏へ向けて良い雰囲気を取り組めるようにしていきたいです。また、指導者と選手のつなぎ役としてもコミュニケーションをよくとり、指導者の考えをより浸透させ、チーム全体を良くしていきたいです。今年のチームは総合力で戦います。私たちは昨年、大きな苦難を乗り越えてきました。その経験から野球ができるありがたさを知りました。感謝の気持ちを全力プレーで届けます。応援よろしく申し上げます。

指導者名簿

部長	山口 泰志
副部長	松本 義修
監督	横内 幸大
顧問	足立 義行
	高井 洋貴
	金山 克海
	清水 大輔
	萩原 和昭
コーチ	
トレーナー	

選手一覽

「三年生」

藤森 大貴	伊藤 裕太
縣 隆裕	高橋 壯大
石井 雅啓	永井 宏樹
岩本 竜伸	松原 領汰
岡本 俊瑛	村上 大也
小林 俊瑛	百瀬 雅也
波多腰 充	井口 泰星
平井 健仁	羽賀 和也
船崎 星矢	森泉 尚也
新井 隼斗	矢口 直樹

「二年生」

甲村 将己	丸茂 将悟
清水 恒陽	若林 圭吾
徳田 涼介	阿藤 友伯
小橋 流可	植林 惇平
杉本 壮矢	百瀬 惇平
山本 健太	横山 修造
岡山 永遠	渡邊 雅人
手塚 俊輔	井口 恭汰
梨本 雄斗	島田 恭汰

「一年生」

上地 康平	岡山 魁星
名古屋 友彦	中込 開
千柳 孝輝	中島 知也
青柳 孝輝	波多腰 知也
浅輪 真珠	宮前 守
安 吉成	森田 哲平
千野 吉成	曾我 一平
山田 純也	足立 一平
井領 純也	足立 一平
大月 涼太	拓実 星

濱地 一輝	北島 輝心
濱下 圭吾	古牧 友陽
宮嶋 隼平	鈴木 稜太
山本 桂太	深澤 祐人
遠藤 裕太郎	桑原 雅斗
上條 匠	山崎 琢郎
高野 友陽	佐藤 優真
武田 友陽	長瀬 優斗
金原 滉乃	松岡 崇

小澤 駿	三澤 岳志
恩田 佑哉	宮下 玄太
榎葉 陽俊	田所 健太
中垣 瑛介	新倉 将道
飯塚 敦也	興水 将道
酒井 俊樹	中野 啓貴
霜島 幸志郎	浅野 弘宗
高橋 優太	石井 遼
中山 楓弥	
濱 陸	



平成26年度 秋季北信越大会

中信地区予選

2 回戦	松商学園 15-0 白馬
準々決勝	松商学園 8-1 松本蟻ヶ崎
準決勝	松商学園 8-1 松本県ヶ丘
決勝	松商学園 5-6 松本第一

長野県大会

2 回戦	松商学園 2-0 東海大三
準々決勝	松商学園 5-2 伊那弥生ヶ丘
準決勝	松商学園 3-1 上田西
決勝	松商学園 6-1 長野日大 (18季ぶり34回目の優勝)

北信越大会

2 回戦	松商学園 11-10 北越(新潟)
準々決勝	松商学園 6-5 金沢(石川)
準決勝	松商学園 4-3 中越(新潟)
決勝	松商学園 0-6 敦賀気比(福井)



試合後の校歌斉唱 (北越戦)



センバツ出場を決定づけた一戦 (中越戦)

第87回選抜高等学校野球大会

閑話球題
「24年ぶり16度目選抜高等学校野球大会」出場。

結果は皆様ご存知の通り。戦評や解説は各種マスコミの内容にお任せして、ここでは視点を変えて考察したいと思います。

まず、今春卒業した3年生が、誰一人欠けることなく野球を続けたこと、野球ができることが当たり前でないこと、ミスや過ちのあったそういう中で如何に踏ん張るかを、身をもって示すことで、下級生たちの気持ちも大きく変わり、彼らの生き方、考え方の見本として尊敬できる存在となったようです。

卒業生には、高校時代には成し得なかった、各々の「未来」に期待しましょう。

さて、選抜大会ではまだまだ力不足でしたが、今の環境が、次へ向かう為の大事なプロセスであると思う事ができれば、野球人としても、一人の人間としても大きく成長できるでしょう。

これからの一挙手一投足全てが、1分1秒が、戻り立つべき場所「甲子園」に続いている。現役のみんなもOBも気持ちをひとつに応援しましょう。

奮い立て！

松商球児、松商健児。

(文責 太田浩行)

結果報告

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
県岐阜商	0	1	0	3	0	0	0	0	0	4
松商学園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1



松商学園

守備	選手名	打数	得点	安打	打点	HR
1 (中)	百瀬 雅也 (3年=左)	4	0	0	0	0
2 (二)	高野 友陽 (2年=右)	4	0	1	0	0
3 (左)	船崎 星矢 (3年=左)	3	0	0	0	0
打	中垣 瑛介 (3年=左)	1	0	0	0	0
4 (一)	新倉 健太 (3年=右)	4	0	0	0	0
5 (三)	宮嶋 隼平 (2年=左)	3	1	1	0	0
6 (右)	矢口 直樹 (3年=左)	3	0	0	0	0
7 (遊)	酒井 俊樹 (3年=右)	2	0	0	1	0
8 (捕)	松原 領汰 (3年=右)	2	0	0	0	0
打	飯塚 敦也 (3年=左)	1	0	0	0	0
投	徳田 涼介 (2年=右)	0	0	0	0	0
9 (投)	恩田 佑哉 (3年=右)	0	0	0	0	0
投	羽賀 和也 (3年=右)	1	0	0	0	0
打補	阿藤 圭吾 (2年=左)	1	0	0	0	0
計		29	1	2	1	0

県岐阜商

守備	選手名	打数	得点	安打	打点	HR
1 (中)	村居 尚磨 (3年=左)	4	0	1	0	0
2 (右)	広瀬 将 (2年=右)	4	0	2	0	0
打右	上野 凜平 (3年=左)	0	0	0	0	0
3 (三)	竹腰 裕行 (3年=右)	3	0	1	0	0
4 (左)	山田 陽太 (3年=左)	4	0	1	0	0
5 (捕)	加藤 惇也 (3年=右)	3	1	1	0	0
6 (一)	村橋 主晟 (2年=右)	4	0	1	0	0
7 (遊)	大野 陸希 (2年=左)	3	1	1	0	0
8 (投)	高橋 純平 (3年=右)	3	1	1	1	0
9 (二)	坂下 令穂 (3年=右)	4	1	1	3	1
二	刈谷 晃汰 (3年=左)	0	0	0	0	0
計		32	4	10	4	1

平成27年3月24日 (火) 第2試合
試合時間：1時間43分
観衆：19,000人

選手名	回数	打者	球数	安打	三振	四球	死球	失点	自責
○ 高橋 純平 (右)	9-	31	110	2	11	1	0	1	0
● 恩田 佑哉 (右)	32/3	19	73	7	2	2	2	4	4
羽賀 和也 (右)	4 1/3	16	54	2	3	1	0	0	0
徳田 涼介 (右)	1-	4	15	1	0	1	0	0	0

写真提供：長野スポーツマガジン(株)



ご寄付・ご声援ありがとうございました。

部員心得

松商学園高等学校硬式野球部
平成二十六年三月二十日作成

- 一 野球選手である前に松商学園生徒であれ
- 一 礼儀は和の基である
- 一 常に松商野球部という和であることを忘れるな
- 一 常に謙虚であれ
- 一 態度・言語は正直・明快であれ
- 一 清楚な美は心から生まれる
- 一 我慢は自分のためである
- 一 健康管理に細心の注意を怠るな
- 一 常に反省したならば失敗は少ない
- 一 成長の場に立つ以上闘志を持ち続けよう
- 一 逃げ道をつくるな
- 一 本気で努力・研究することは成功への道
- 一 確固たる信念を持つて
- 一 自立心を養え
- 一 けじめをつけよ
- 一 凡時徹底を忘れるな
- 一 用具を大切にすることは精進の表れ
- 一 上級生は下級生が決める
下級生は上級生が決める
- 一 野球は社会に通じることを忘れるな
- 一 全てのことにありがとう

今後の試合（遠征予定）

6月

- 6日（土）～9日（火）
第132回 春季北信越大会（長野 上田）
- 13日（土）
①桐蔭学園（桐蔭学園グラウンド）
②松本工業 創造学園（松商学園グラウンド）

14日（日）

- ①横浜 中京（横浜グラウンド）
- ②帝京第三（松商学園グラウンド）

20日（土）

- ①関東学園大附（松商学園グラウンド）
- 21日（日）
③三重（松商学園グラウンド）

27日（土）

- ②穂高商（穂高商グラウンド）
- ③長岡大手（松商学園グラウンド）

28日（日）

- ④愛工大名電（松商学園グラウンド）
- ⑤上田千曲（上田千曲グラウンド）

7月

5日（日）

- ①大田原 大府（松商学園グラウンド）
- ②小諸商（小諸商グラウンド）

11日（土）～26日（日）

- 第97回全国高等学校野球選手権長野大会（松本 長野 上田 諏訪）

8月

6日（木）～20日（木）

- 第97回全国高等学校野球選手権大会（甲子園）

※①：Aチーム、②：Bチーム

最近の練習風景

訪問した4月下旬、薄川堤防沿いの桜並木は満開。お花見客でにぎわっています。
松商グラウンド一塁側名物の土手には上伊那農業高校とのオープン戦の観戦に多数のファン、ご父兄が訪れていました。
多数の名選手を輩出したグラウンドには、歴代OB、現役部員の血と汗と涙が染み込まれています。今回は、グラウンド内外の風景をレポートします。



①桜満開の下、昔も今も厳しさと愛情を持ったファンが見守ってくださる土手。



②新ダッグアウト（3塁側）ホームベース位置が移動となり、旧ダッグアウトより前に出てきました。横幅が長くなり、オープンスタイルです。

③バックネット裏にある、Vを象ったイチイ。社会人野球藤倉電線、全日本のエースとして日米野球で活躍された米久保庄内先輩の作品です。Vは、VICTORYのVです。



④バックネット裏後方、源池小学校との境目にある梨の木。戦後13年間監督を務められた、名将胡桃沢清先生が、グラウンドから鬼門の方角となるこの位置に、66年前に植えられた「鬼門無し」と定めた梨の木です。



今後様々なものをご紹介できればと思っております。

（文責 圓山 徹）



◆平成26年度OB会費納入者一覧◆

- 丸山花里 62回卒 惇臣 小松義人 62回卒 惇臣 横沢佐木 62回卒 宏和 高根宏武 62回卒 基裕 古畑秀稔 61回卒 秀稔 北沢秀稔 61回卒 秀稔 宮下義一 61回卒 義一 丸谷義一 60回卒 義一 丸山洋五 60回卒 義一 北條貴光 59回卒 貴光 宮下貴光 59回卒 貴光 中田尚吾 58回卒 尚吾 三澤今朝治 58回卒 今朝治 中村富年 58回卒 富年 三澤今朝治 58回卒 今朝治 丸山末義 58回卒 末義 大月敏生 57回卒 敏生 能勢頼明 57回卒 頼明 末岡幹也 57回卒 幹也 矢嶋三幸 57回卒 三幸 菅沢多一 56回卒 多一 高山一栄 56回卒 一栄 山本誠 55回卒 誠 百瀬良雄 55回卒 良雄 牧野好伯 54回卒 好伯 百瀬兵二 54回卒 兵二 西村英雄 53回卒 英雄 中嶋嘉平 53回卒 嘉平 高井隆雄 53回卒 隆雄 池田政雄 52回卒 政雄 山浦壽美 49回卒 壽美 上條壽 49回卒 壽 小林昭仁 49回卒 昭仁 下村幸雄 45回卒 幸雄 宮坂真一 41回卒 真一 宮澤雄次 38回卒 雄次 宮澤雄次 38回卒 雄次 中澤英孝 63回卒 英孝 横内嘉文 84回卒 嘉文 日詰洋司 84回卒 洋司 横内嘉文 86回卒 嘉文 輪湖源和 86回卒 源和 直田晃 100回卒 晃 滝沢義正 100回卒 義正 滝沢義正 100回卒 義正 瀧口惠介 104回卒 惠介 樋屋大輔 105回卒 大輔 中野裕和 105回卒 裕和 遠山裕和 106回卒 裕和 山内末来 106回卒 末来 山浦寿昌 107回卒 寿昌 田中憲太郎 107回卒 憲太郎 田中憲太郎 107回卒 憲太郎 中黒和希 109回卒 和希 齊藤祥平 109回卒 祥平 中村勇紀 110回卒 勇紀 逸見利行 110回卒 利行 福士達冬 110回卒 達冬 池田大 111回卒 大 森山翔太 111回卒 翔太 武田匡達 111回卒 匡達 池田匡達 111回卒 匡達 松田隆志 112回卒 隆志 伊藤龍寿 112回卒 龍寿 平井凱 112回卒 凱 神谷大健 113回卒 大健 今知介 113回卒 知介 中村晃介 113回卒 晃介 中野隆 113回卒 隆 物嶋達哉 113回卒 達哉 吉崎弥彦 113回卒 弥彦 宮崎雅弥 113回卒 雅弥 山崎弥彦 113回卒 弥彦 小川大樹 113回卒 大樹 長島健太郎 113回卒 健太郎 岡本健太郎 113回卒 健太郎 島田健太郎 113回卒 健太郎 相田健太郎 113回卒 健太郎 赤羽太吾 113回卒 太吾 福本悠太 113回卒 悠太 山本直弘 113回卒 直弘 作山勇斗 113回卒 勇斗

松商野球部OB会 会費納入のお願い

※振込みの場合は、卒業年数もしくは、卒業回数をご記入下さい。

- 同封の払込取扱票で振込み

郵便局（ゆうちょ銀行）に出向いていただき、振替口座へ振込みをお願いします。（手数料OB会負担）
- 郵便局以外の金融機関からOB会口座へ振込み

金融機関（松本信用金庫・八十二銀行）へ出向いていただき振込みするか、ご自分のインターネットバンキングを利用するの振り込みも可能です。（手数料はご負担願います）

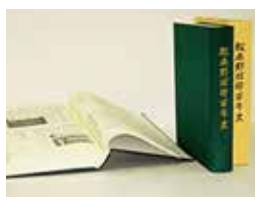
<p>①松本信用金庫 金融機関コード：9900 店番号：019 二子支店 預金種目：普通 口座番号：0110925 受取人名義：松商野球部OB会 会計 輪湖源和 カナ氏名(受取人)：マツショウヤキュウブOBカイ カイケイ ワコモカズ</p>	<p>②八十二銀行 金融機関コード：0143 店番号：414 深志支店 預金種目：普通 口座番号：0631985 受取人名義：松商野球部OB会 代表 高根基 カナ氏名(受取人)：マツショウヤキュウブOBカイ ダイヒョウ タカネモトイ</p>
--	--
- 銀行口座からの自動引き落とし

松本信用金庫又は、八十二銀行のどちらかの金融機関の預金口座をお持ちの方は、毎年自動的に納入される、「銀行口座からの自動引き落とし」の利用を検討しております。ご希望の方は、OB会役員までご連絡ください。手続き方法についてご説明させていただきます。
携帯電話 090-4708-3376 (金澤悦司 幹事長)

(文責：村瀬浩之)

松商野球部百年史

松商野球部の歴史を資料と写真で集大成。全801ページ。
1冊5,000円(送料別)。
購入希望の方は左記までご連絡をお願いします。
お問い合わせ先 松商サポート
(0263)341-2745



松商学園歴史栄光室

昭和3年の全国優勝、平成3年のセンバツ準優勝をはじめ100年を超える硬式野球部の歴史が盛りだくさんです。
優勝旗他、貴重な展示品を一度ご覧ください。
入場料無料。見学希望の方は事前に予約が必要です。
お問い合わせ先 松商学園高等学校
(0263)331-1100



松商野球部OB会ホームページ

今回、OB会報の発刊と同時に、ホームページも検討中です。お楽しみに。

(文責：横山正志)

屋内練習場の様子



「学生野球の父」とされる元早稲田大学野球部監督で、野球殿堂入りしている飛田穂洲(とびたすいしゅう)先生の書かれた「練習常善」が屋内練習場入口に掲げられている。



ホームベースの位置を変更



屋内練習場入口



屋内練習場とブルペン



ミーティングルーム



ロッカールーム



壁に掛けられた歴代部員の名札



応接室



スタッフミーティングルーム



バッティング風景

▶ブルペン(3カ所)



▶バッティング(4カ所)



写真提供：松商学園高等学校 写真撮影：小口卓哉

<p>能勢 頼明 (第57回卒) 0263-32-1489</p>	<p>宮下 貴光 (第59回卒) 0263-92-2578</p>	<p>(株)丸谷工業 丸谷 義一 (第60回卒) 0263-25-4008</p>	<p>OB会長 高根 基 (第61回卒) 0263-36-2157</p>
<p>松本電気工業(株) OB会副会長 小野 猛 小野 秀樹 (第66回卒) (第96回卒) 0263-47-6585</p>	<p>(有)大和屋商店 木藤 利光 萩原 光雄 (第68回卒) (第75回卒) 0263-33-0512</p>	<p>松本車輻(株) 篠田 泉 (第72回卒) 0263-47-0090</p>	<p>伊原漆器専門店 佐々木 一郎 (第74回卒) 0263-32-0449</p>
<p>お食事処 池国 名古屋 勇 (第85回卒) 0263-32-1451</p>	<p>熊谷製麺(株) 熊谷 宗紀 (第86回卒) 0263-25-1497</p>	<p>(有)ヒロエンタープライズ 松本中央ゴルフセンター 田中 浩正 (第88回卒) 0263-25-2957</p>	<p>サン・フーズ(株) 堤 良一 (第92回卒) 0263-48-7411</p>



歴史栄光室



源 智 寮



総合トレーニングセンター



<p>信州美術工業(株) 青木 壽 (第54回卒) 0263-25-0219</p>	<p>高山商工(有) 高山 一栄 (第56回卒) 0263-82-3305</p>	<p>(株)大月酒店 大月 吉史 (第57回卒) 0263-28-8500</p>	<p>末岡 幹也 (第57回卒) 0263-25-0228</p>
<p>開道不動産 二村 康悟 二村 武 (第63回卒) (第91回卒) 0263-39-7750</p>	<p>菓子工房 ミユキドウ 大月 健生 大月 敬三 (第63回卒) (第65回卒) 0263-32-3355</p>	<p>OB会副会長 斎藤 渡 (第64回卒) 0263-58-4577</p>	<p>OB会副会長 福岡 進 (第65回卒) 0263-52-3403</p>
<p>(有)百瀬商店 百瀬 豊 百瀬 研吉 (第74回卒) (第77回卒) 0263-32-2417</p>	<p>(有)米田屋 太田 浩行 (第75回卒) 0263-32-0291</p>	<p>(有)本郷商店 本郷 剛史 (第80回卒) 0263-64-2202</p>	<p>(株)アイシंक 赤羽 勝巳 (第82回卒) 0263-25-2130</p>

平成26年度事業報告

1月13日	球友会主催 祈願祭 球友会主催 新年会
2月6日	松商野球部後援会 新年会 OB会 総会・新年会
3月4日	※日本学生野球協会より6ヶ月の対外試合禁止処分 OB会 役員会
4月8日	※日本学生野球協会より追加処分9月5日まで 百瀬新校長と面談・山口新部長と面談
5月10日	山口部長・足立監督と面談 屋内練習場完成(1F) OB会 学年幹事会
6月6日	松商学園高等学校校友会総会 中信地区高等学校野球部OB連盟 定期総会 OB会強化部(情報部)会議
7月6日	松商野球部後援会 役員会 京浜校友会 総会・懇親会 松商野球部後援会 総会 3年生(A・B)の引退試合 メダルを贈る 1・2年生練習開始
9月6日	OB会強化部(情報部)会議 強化合宿 38名(7/27~8/3) 屋内練習場完成披露 神事等 ※対外試合解禁
10月8日	中信地区高等学校OB連盟 ゴルフ大会 中信地区高等学校OB連盟 野球大会 OB会 役員会
11月6日	後援会の会長・幹事長と打合せ 今後の甲子園出場に係る寄付活動打合せ会議
12月2日	松商野球部後援会 役員会 OB会 学年幹事会

祝 常務理事就任 高山一栄 氏

去る、6月1日開催の学校法人松商学園理事会において、松商野球部OB会顧問の高山一栄氏が、学校法人松商学園の常務理事に選任されました。
OB会員一同よりお祝いを申し上げますとともに、学校法人松商学園及び硬式野球部のために更なるご尽力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

松商野球部OB会員一同

野球部へ 京浜OB会の願い

松商野球部OB会京浜支部 会長 北條 眞

今春、久しぶりに母校が甲子園出場を果たした。生憎の寒波で甲子園は真冬の寒さである。懐かしいユニフォーム姿の選手を見ると、一瞬に50数年前にタイムスリップしてしまった。試合は敗れてしまったが、夢の中にある様な2時間であった。高校野球の全国のレベルは高い。遠いアルプス席からでは良く見えなかったが、投手は低めへのコントロール、打者とのタイミング、スプリットの習得が必要と思った。この敗戦から色々の事を学んだ事だろう。夏はもうすぐだ。一段のレベルアップをして勝ち抜いて欲しい。

京浜OB会も10年が過ぎた。年々会員が減少する中、毎年2月に松本から、監督、本部役員を招いて総会を開いている。新チームの状態など監督から聞きながら、今年は甲子園へ行けるのかどうか?考えてみるのである。懇親会では先輩、後輩の枠を超えて和気藹々酒を酌み交わしながら、野球部時代の思い出を語り合っって一時を過ごすのである。今年も又、細やかであるが、野球部へのバックアップとして、1個1個のボールに京浜OB会の願いを込めて贈る。春に続いて夏も松商のユニフォーム姿を甲子園で見せて欲しいと願っている。

松商野球部OB会役員

顧問	宮坂 真一	幹事長	金澤 悦司
〃	下村 幸雄	副幹事長	召田 三博
〃	高山 一栄	〃	横山 正志
〃	末岡 幹也	〃	圓山 徹
〃	丸谷 義一	〃	遠山 裕太
特別顧問	池田 政雄	会計	輪湖 源和
〃	大月 吉史	〃	三村 誠司
〃	中原 英孝	〃	飯沼 光永
〃	小尾 淳美	〃	飯沼 光永
〃	高根 基	〃	成澤 洋
〃	斎藤 渡	〃	
〃	福岡 進	〃	
〃	小野 猛	〃	

◆あともがき◆

初夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、母校野球部は24年振りに春のセンバツ出場を果たしました。私も何年かぶりにアルプススタンドから応援し、その独特の雰囲気と感動を味わって来ました。
会報の発刊は、以前より会長を中心として検討してまいりました。それらは会員各位の皆様には野球部の現状、情報をお知らせすることによりそれらを共有し、一人でも多く野球部、又、OB会に関心を持って頂ければという願いでもあります。

誰しも認める名門中の名門母校野球部が甲子園の常連校として活躍するためには、OB会の力が不可欠です。是非とも宜しくお願ひ申し上げます。
甲子園出場により地元松本市も元気になり、母校が市民球団と言われることを改めて実感致しました。
我々役員会は皆様のご鞭撻、協力を頂きながら、OB会を更に発展していきたいと考えています。

松商野球部OB会報発刊にあたりまして、快く掲載写真を提供いただいた長野スポーツマガジン(株)様、松商学園高等学校、また、広告掲載にご協力いただきました野球部OB各位、遠くからいつも野球部を応援くださった京浜OB会様、立派な会報に仕上げてくださった(有)岡印刷様、5名の編集委員に心より感謝申し上げます。
最後になりますが、会員各位の皆様様の益々のご活躍を祈念申し上げます。とがきとさせていただきます。

松商野球部OB会
幹事長 金澤 悦司

松商野球部OB会報	発行日	平成27年6月1日
発行部数	発行部数	75(75回)
編集者	編集者	78(78回)
印刷	印刷	83(83回)
		88(88回)
		(有)岡印刷